

ふるさと

2

vol.226
2017

JA秋田ふるさととは、新たな期待を創造します。



【特集】

我らの思いを今…!

平成28年度東北・北海道地区

JA青年大会 in 札幌



今月は

サトイモ



日本では稲作よりも早く、縄文時代から食べられていたほど、歴史の古いイモです。管内では「いものこ」として知られ、親イモの周りにつく子イモや孫イモを食べる「土垂」がメインに栽培されています。そのほか、大きな親イモだけを食べる「タケノコイモ」、両方を食べる「ヤツカシラ」などの品種もあります。サトイモのぬめりは、ガラクトンやムチンという水溶性食物繊維です。ガラクトンは脳細胞の活性化や免疫力のアップ、ムチンには消化吸収を高め、粘膜を保護する働きがあります。イモ類の中では低カロリーでカリウムが豊富なのも特徴です。



我が家自慢の
レシピを伝授！

【さといものティラミス風ココット】

第5回アイデア料理コンテストinさんない
最優秀作品



● 材料（6人前）

サトイモ	150g
卵黄	1個
ホイップクリーム（泡立てたもの）	100g
粉ゼラチン（ふやかしたもの）	10g
【A】シロップ	砂糖 60g
	水 50cc
	インスタントコーヒー 大さじ 1
【B】コーヒー液	砂糖 75g
	湯 50cc
ココアパウダー	少々
ビスケット（円形）	4枚

- ①サトイモはすぐに形が潰れるくらいに柔らかく煮て潰す
- ②【A】を鍋に入れ火にかけ煮詰め粗熱をとる
- ③【B】の材料を混ぜ溶かしておく
- ④卵黄に②を大さじ2強加え、白っぽくなるまで泡立て、ゼラチンを加えて混ぜる
- ⑤④にサトイモを加えて混ぜ、ホイップクリームと③を大さじ4～5加え混ぜる
- ⑥⑤をココット容器に入れビスケットを置き、その上に⑤を重ねて平らにのぼし3層にする。3～4時間冷蔵庫で冷やし、食べる直前にココアパウダーをかけて完成！



レシピの紹介者

【横手地区】
熊谷明美さん

驚きのティラミス風ココット

柔らかく煮たサトイモを潰したところ、マスカルポーネチーズのように見たことから着想を得てティラミスを作ろうと考えた熊谷さん。その食感は一瞬ではサトイモだと気づかない不思議なティラミスです。サトイモは冷凍したものも使えます。煮加減や潰し加減はお好みで調整してください。生地を平らにのぼすときは粘るので慎重に作りましょう！夏は冷凍庫で冷やしてアイスクリームとして美味しく食べられます。家にココット容器がなくても大丈夫！コーヒーカップなどお好みの容器に入れて皆さんだけの「さといものティラミス風ココット」を作ってみてはいかがでしょうか♪

CONTENTS

- 02 レシピ
- 03 もくじ/表紙紹介
- 04 **【特集】**
我らの思いを今…！
平成28年度東北・北海道
地区JA青年大会 in札幌
- 08 ニュース&トピックス
- 12 営農ワンポイントアドバイス
- 13 地元の高校生が行く！
突撃！アグリリポート
- 14 農に生きる
- 16 農旬情報
確定申告について
- 17 健康情報
- 18 ふるさとサロン
- 20 バラエティコーナー
- 22 インフォメーション
- 24 ふるさとの民話
JAの概況

表紙紹介

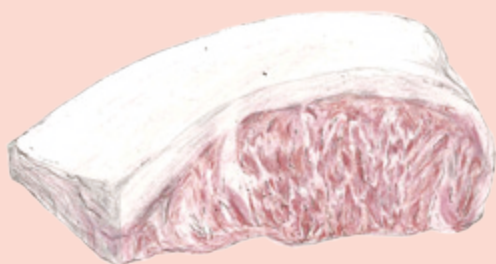


「表紙」の女の子

後藤 桃香ちゃん(金沢・4歳《5月2日生まれ》)

両親(父:信一さん 母:昭子さん)と兄の世那くん(小1)、祖父母との6人家族。おままごとが大好きな桃香ちゃんは、保育園でもお友達と一緒に遊んでいます。手先が器用で、おりがみや工作も得意。さらにスキーも上手にすることができ、近くのスキー場には1月中に5回も遊びにいらしています。よく遊び、よく食べ、元気な桃香ちゃん。リンゴやミカンが大好きで、当然お肉も大好物です！家族でよく焼き肉やすき焼きを食べて、一家団らんを楽しんでいます。これからも元気いっぱい、お友達と仲良く遊んでね。

横手黒毛和牛(秋田牛)



横手黒毛和牛は、奥羽山脈に抱かれる横手盆地の夏の暑さと冬の厳しさで育まれるブランド牛です。生産者は、この自然豊かな大地と澄んだ空気の中、一頭一頭に愛情を注ぎ大切に育てています。当JA和牛部会では、部会員34人が生産者同士の情報交換を積極的に行いながら活動しています。秋田牛とは、2014年に県が生産者や関係者と共に米どころ秋田を象徴する「米」をキーワードにして立ち上げた新ブランド。横手黒毛和牛も秋田牛に属しています。肉質が3等級以上で、最長飼養地が秋田県内で、エサに一定量の飼料用米を給与することが条件となっています。米を給与した牛肉の特徴は、やわらかくて多汁性があり、旨みが強く、脂の口溶けが良いと大変好評です。



我らの思いを今・・・！

— 平成28年度 東北・北海道地区 J A 青年大会 in札幌 —

秋田市で昨年11月25日に開かれた「秋田県 J A 青年大会」で当 J A が「J A 青年の主張発表」「J A 青年組織活動実績発表」の両部門で最優秀賞を受賞。秋田県代表として1月17日、18日に北海道札幌市で開催された「東北・北海道地区 J A 青年大会」に出場しました。北の大地を震わせる盟友たちの熱き思いをレポートします。



同大会は1月17日、18日の2日の日程で開催。各地区の代表JAの青年部員など500人が参加しました。

1日目冒頭では、東北・北海道農協青年組織協議会の大野政幸委員長が主催者を代表してあいさつ。各地多数の盟友の参加に謝意を述べ、「消費者の理解を得ながら農業を発展させるためには地域農業振興の牽引者である我々の活躍に期待が寄せられている。青年ならではの若い力を存分に発揮し、農業の発展に向けて一緒に頑張っていこう」と参加者に呼び掛けました。

2日目には、北海道農業タレントとして活躍している演劇ユニット「TEAMNACS」のリーダー森崎博之さんが「生きることは食べること」と題して講演。「物の命をいただいていることで農産物を作る生産者や食材に感謝する心が生じた」と、自身が農業体験番組に出演した経験を話しました。「農産物を売ることは農産物が生み出されるまでのストーリーを売ることだと思う。物を生産する人はカッコいい。もっと誇りを持って農業を愛してほしい」と盟友に熱く語り掛けました。

「俺が故郷になる！ ～地域との密着～」

JA青年の主張発表

鈴木 伸行 さん



JA青年の主張発表大会には増田支部の鈴木伸行さんが出場。「俺が故郷になる！～地域との密着～」と題し、青年部活動に携わったことで地域を守る答えを見つけたに至った過程を発表しました。実家がリンゴ農家の鈴木さん。農業の汚い、危険、虫が怖い「3K」と大雪から逃れるために秋田県を離れ、静岡県で就職します。ところが2011年に両親が営農するリンゴ畑が大雪被害に遭い、悩み抜いた末、「ふるさとを守りたい」という考えを持って実家に戻り就農を決意。

しかし、就農した最初の2年間は方向性が決まらず悶々とした日々を過ごすことになりました。そんなある日、鈴木さんは盟友に誘われて中学校の農業体験学習の手伝いをしたことを機に、青年部活動へ参加するようになります。活動に積極的に取り組んで得られた感動をより多くの人に知ってもらいたい――。ふるさとを守るために何をすべきかを導き出すことができました。

「俺が！俺たちがふるさとだ」と
胸を張って言える農家になりたい

農業体験学習に参加した経験を生かして家でグリーンツーリズムを行っている鈴木さん。留学生も受け入れて交流を続けています。最終的な目標は食と農の観光施設、通称「USJ」と呼ばれる「ウルトラ鈴木果樹園ジャパン」を作ること。「俺が！俺たちがふるさとだ」と胸を張って言える農家へとなっていきたい」と力強く締めくくりました。

「お、鈴木くん、
ネギ、やんねが？」



「え？俺ですか？
リンゴ農家なので…」



「若人の力で地域活性化！ 十文字まるごとマルシェ」

J A 青年組織活動実績発表

新山 武 さん



できない理由よりも、
できる理由を考える。
そんな青年部を目指したい

J A 青年組織活動実績発表大会に出場した十文字支部の新山武さん。「若人の力で地域活性化！十文字まるごとマルシェ」と題し、十文字地域づくり協議会主催の「十文字まるごとマルシェ」に立ち上げ当初から2年間参加し、課題に向き合いながら「やればできる」という自信につながったことを紹介しました。

盟友の減少や青年部活動のマンネリ化に一石を投じる出来事が、「医」「食」「住」の十文字の良さを全て盛り込んだ「十文字まるごとマルシェ」というイベントの立案。地域の活性化に貢献できると考えた青年部は「食」のブースで軽トラ市での出品を考えます。

1年目は十文字産の野菜をPRし、手ごたえはあったものの、開催時期や青年部が販売している認識が薄いこと、年配の方しか来ないなどの反省点が噴出しました。「もっと我々のことを知ってもらいたい」という盟友たちの思いから2年目は会議が活発化。青年部のTシャツを作成して認知度を高

め、親子連れが楽しみながら「食」に興味を持ってもらえるように軽トラ市で「ミニトマトすくい」を行うなど、新たな取り組みは功を奏します。新山さんは、さまざまな世代の消費者にアピールできたことは部単独ではなく、J Aをはじめ商工会や行政など他業種との連携なくしては成し得ず、また、盟友同士の結束が強くなったことで成功をおさめることができたことを強調しました。

そして、マルシェに参加した経験から農業が活性化し、地域も活性化するモデルケースを作り上げ、地域の食と農の魅力を県内外



に伝えていくことを誓い、「できない理由よりも、できる理由を考える青年部を目指していきたい」と決意を述べました。

厳正なる審議の末、J A 青年の主張発表大会は福島県代表の東西しらかわ農業協同組合青年連盟の菊池一裕さんが、J A 青年組織活動実績発表大会では北海道代表のJ A 幌延町青年部の加藤敬弘さんがそれぞれ最優秀賞を受賞。鈴木さんと新山さんは惜しくも同賞を逃しましたが、「自分たちの思いを会場の皆さんに存分に伝えることができた」と笑顔で話していました。



12



9



13



10



14



11



1



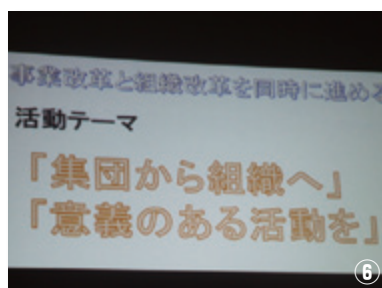
3



2



4



6



5



7



8

①各地から代表 J A の青年部員など500人が会場を埋め尽くした
 ②札幌プリンスホテル・国際館パミールで行われた ③東北・北海道農協青年組織協議会の大会委員長 ④功労者の面々。秋田県農業協同組合青年部協議会前委員長の石垣博隆さん（左から3番目）に感謝状が授与された ⑤⑥ J A 青年組織活動実績報告発表で最優秀賞を受賞した北海道代表の J A 幌延町青年部の加藤さんとその発表 ⑦ J A 青年の主張発表で最優秀賞を受賞した福島県代表東西しらかわ農業協同組合青年連盟の菊池さん ⑧情報交換会の冒頭に北海道武蔵女子短期大学のYOSAKOIチーム「コンサフリーク」の皆さんが登場。チアリーディングと融合した演舞を披露した ⑨ J A 青年組織綱領を読み上げる部員 ⑩各道府県代表が思い思いのテーマでスピーチを披露した。秋田県代表として A K T「J A みどりの広場」のコメンテーターとしてお馴染みの秋田県農業協同組合青年部協議会の佐川長範副委員長が「青年農家の悲しいとき」を発表。会場は共感の歓声に包まれた ⑪会場の外に農政看板の写真を展示 ⑫⑬当 J A 青年部員の様子。笑顔がこぼれる場面も ⑭北海道農業タレントとして活躍する演劇ユニット「TEAMNACS」のリーダー森崎さんが講演

News & Topics ニュース&トピックス February 2017



今月の組合員のみなさんの活動やJAの行事を、写真と記事で振り返ります。



▲肉豚の部で最優秀賞を受賞した根田文夫さん（平鹿）



▲肉牛の部で最優秀賞を受賞した伊藤重男さん（横手）



▲繁殖子牛の部で最優秀賞を受賞した（農）夏美沢高原ファーム（大森）



▲生乳の部で最優秀賞を受賞した高橋正さん（大森）

畜霊祭・畜産生産者大会 畜産振興へ祈りを込めて 生産者など参列

出荷した家畜の御霊への感謝と畜産の振興を祈念する「畜霊祭」を1月27日、よこてシャイニーパレスで開き、畜産関係部会員（和牛・酪農・養豚部会）、行政担当者、市場関係者など45人が参列しました。宮司による祈禱のほか、各部会の代表者による玉串奉奠などの神事が行われ、参列者全員で祈りを込めました。その後、「第19回畜産生産者大会」が行われ、優良農家表彰や大会スローガン採



▲宮司の祈禱に低頭して祈りを込める

択、有限会社アークベテリナリーサービスの武田浩輝氏による「動物用薬品、飼料添加剤と食の安全について」と題した講演などがありました。

きゅうり作付け勉強会 初心に返り基礎を学ぶ 天候不良に負けない栽培

きゅうり部会は1月12日、よこてシャイニーパレスで作付け勉強会を開き、部会員など65人が参加しました。11月の販売実績検討会では、土壌分析による肥料設計での土づくりと天候不良を考慮した適期の栽培管理、栽培時期をずらしたり異なる品種を栽培したりするリスク分散を課題に挙げていました。今回の勉強会では、県や種苗会社の担当者4人を招いて、土壌病害と土づくり、品種特性など基礎を学び直しました。同部会は4年連続で生産量と販売金額を伸ばし、今年度は968.6トン（前年度比5.8%増）を記録しました。園芸メガ団地などでの栽培面積の増反は81.7ヘクタールで、全体で約12ヘクタールでの栽培実績。全部会員が天候不良に負けない栽培に取り組み、所得の向上を目指しています。



▲佐藤孝弘部会長は「品種間で生育や収量の格差が大きかった。改めて勉強し直そう」と呼び掛けた



▲種苗会社の担当者から品種構成などを学び来年度の作付けの参考にする部会員



▲傳野猛部会長は「来年度に向けた対策をしっかり行い、高品質高収入を目指していこう」と話した



▲部会員は種苗会社の担当者から土壌改良や台木品種の選択についてもアドバイスを受けた

トマト冬季栽培講習会 高品質生産へ 課題を踏まえ対策講ず

トマト部会は1月24日、よこてシャイニーパレスで冬季栽培講習会を開き、部会員など30人が参加しました。種苗会社の担当者を講師に迎えて「りんか409」と「桃太郎」シリーズの品種特性と来年度に向けた栽培のポイントについて学びました。管内主力品種である「りんか409」の栽培を解説した株式会社サカタのタネ東日本支社仙台営業所の東太郎さんは、玉の肥大不足や樹勢の低下に陥らないように、かん水の時期を遅らせることなく管理徹底することを強調しました。また同部会では昨年12月に農業生産性の向上や安定的な農産物の確保を目的に横手市とJAが開催した「土壌診断による栽培アドバイス&セミナー」（協力：県平鹿地域振興局、秋田県立大学）に参加した部会員の土壌分析結果を開示。JA担当者は「結果を受けて来季の施肥設計に活かしてほしい」と要請しました。

日曜日開催稲作基礎講座 初心者向けに 米作りの「いろは」解説

J Aは1月15日、平鹿支店で2016年度第1回目の稲作基礎講座を開講し、36人が受講しました。会社勤務で週末に農業を営む従事者や農業経験の少ない初心者を対象にJ Aの稲作専任指導員が講師役となり解説。講習は全3回を予定しており、初回は管内で最も栽培されている「あきたこまち」の品種特性や播種、育苗管理、上手な除草剤の使い方などを説明しました。小田原悦夫稲作専任指導員は実例を交えながら、育苗器を使わずハウスまたはトンネル内で被覆資材を使用して出芽させる無加温出芽について解説。「出芽期の温度管理が最も重要。出芽までの一週間は注意してほしい」と呼び掛けました。受講者の1人は「週末開催で良い機会だと思い受講した。まだ分からないことが多いが、学んだことを実践してみたい」と話しました。第2回目は2月19日を予定しています。



▲J Aの稲作専任指導員がスライドで米作りの基礎を解説した



▲3回分の講座の資料を時系列に沿って見返せるように受講者にバイNDERを配布した



▲小田嶋組合長は「産地の特性を活かした販売を継続する。後継者不足の課題にも対応し、新たな稲作農家の育成にも努めたい」と述べた



▲法人経営について各種事業の取り組みを確認する会員

農業法人連絡協議会 今後の発展に向け 法人経営など学ぶ

農業法人連絡協議会は1月25日、よこてシャイニーパレスで研修会を開き、行政や会員など90人が参加しました。研修会では小田嶋契組合長が2018年産以降の米生産について説明。組合員に安心して米作りをしてもらうため、品種別作付面積を把握し、翌年の米出荷契約を前倒しして農家との面積契約を取り進めるとしました。また、実需者との長期契約、複数年契約など多様な契約体制を確立し、販売数量の積み上げを図ります。17年度においても実需者からの要望数量に対して生産量が不足しているため、不作地の解消や作付面積の拡大を図り、農家の作付可能面積の掘り起こしに取り組むとしました。このほか、厚生年金保険や健康保険の加入、労務管理について農林中央金庫秋田支店の担当者や社会保険労務士を講師に迎え解説を受けました。会員は制度に照らして農業法人が農業の発展に向け若年層が働きやすい充実した職場を目指すことを確認しました。

介護・福祉車両贈呈式

JAとの相互協力に期待 介護福祉サービスで活用

JA 共済連秋田（木村一男会長）は1月17日、横手市協同組合横手卸センターで介護・福祉車両贈呈式を行い、横手市社会福祉協議会（佐々木義広会長）に介護福祉車両1台を寄贈しました。地域貢献の一環として、高齢者の介護や福祉に役立ててもらおうと本年度より実施。贈呈式にはJAの役職員も参列しました。木村会長は「高齢化が進む横手市とともに福祉事業を展開する社会福祉協議会とJA秋田ふるさとが相互協力をし、なお一層地域から信頼される大きな役割を果たしてほしい」とあいさつ。同協議会では、車両を横手市雄物川町の雄風荘指定通所介護事務所に、デイサービスを利用している高齢者の送迎車として活用しています。



▲木村会長（右）が佐々木会長（左）へ介護福祉車両の鍵のレプリカを手渡した



▲佐々木会長は「早速ありがたく使わせていただく」と感謝の言葉を述べた



▲大雄支店で福引き抽選を楽しむ来店者。小さなお子さまからお年寄りまでドキドキの抽選会



▲大森支店でも紅白の幕で覆われた抽選会場は、お正月感とお祭り感が交差したにぎわいをみせていた

福引き抽選会

年初めの運試し 各支店でにぎわう

JAでは1月4日から6日の3日間、毎年恒例のウィンターキャンペーンによる福引き抽選会を行いました。このうち4日には大雄支店など3支店で抽選会を行い、多くの来店者でにぎわいました。抽選券の交付は、昨年11月1日から今年1月6日までの期間中、定期貯金や定期積金などの新規契約者や書替え継続契約者を対象に配布。来店者は、温泉ペア宿泊券や讃岐うどんギフトセットなど計6402本が当たる抽選会で、年初めの運試しを楽しんでいました。また、4日は各支店および出張所で正月初貯金日とし、来店者にみかんやお菓子などを振る舞い、干支の貯金箱を配りました。家族連れで抽選に訪れた親子は「毎年楽しみ。家族で楽しめるイベントとしてこれからも続けてほしい」と笑顔で話していました。



マメコバチの まゆ 繭の洗浄方法

【指導員】 園芸果樹課 大和屋 尚享

果樹は、雪害から生産量が回復してきていますが、品質が伴わなくては大きな収益アップにはつながりません。リンゴやサクランボにおいては、高品質安定生産に人工授粉の実施が最も効果的ですが、訪花昆虫利用による授粉を行っている方も多いと思います。マメコバチが代表的ですので、今回はマメコバチの繭を簡単にきれいにできる洗浄方法を紹介します。キーワードは「3分・3分・3分・3分」です。

【準備するもの】

料理用のボウルとザル（ザルは網目の細かいステンレス製が好ましい）

①繭を水に浸す（3分間）

繭を巣筒から取り出す際、ドロバチ（図1）などの天敵を取り除いておきます。



図1

繭を適量ボウルに移し、冷水を入れます。繭が水を弾き浮いた状態になるので、繭を

かき混ぜて、水に馴染ませます。（こする必要はない）

この状態で3分間浸しておくと、繭からゴミが取れやすくなります。大きなゴミ（アシの破片など）が浮いていたら取り除きます。

②繭のこすり洗い（3分間）

きれいになった繭をザルに移します。ザルをボウルにセットし、繭が少し浮く位まで冷水を貯めます。次に繭を網にこすり付けるように混ぜ



図2

ます。（繭を潰さないように）3分間続けると、すべての繭がきれいになります（図2）。

③繭のすすぎ洗い（3分間）

きれいになった繭を別のザルに移します。上から水道水を流し当てながら繭をかき混ぜ、繭の表面についている細かいゴミを洗い落とします。

3分間続けるとゴミはほとんど流れ落ち、繭がとてもきれいになります（図3）。



図3

④繭の乾燥

育苗箱などに新聞紙を敷き、その上によく水切りをした繭を並べます。繭を並べた箱は日の当たらない所に置きます。2日ほどで繭の表面が完全に乾きますが、良く乾いていないと、保存中にカビなどの原因になります（図4）。



図4

⑤繭の保管

乾いた繭は、菓子箱などの容器に入れます。春の放飼作業前までは冷蔵庫などの低温下で保管しておきます。



洗浄前



洗浄後

◆
◇
◆
繭の洗浄は遅くても3月下旬までに終わらせましょう。

地元の高校生が行く！ 突撃！アグリリポート



119時間目



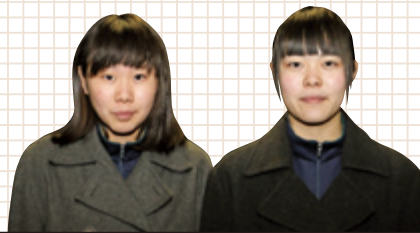
①井上さんから良い椎茸の見分け方を教えてもらった
②一週間程ほどで大きくなる椎茸。温湿度管理を徹底して発生させている ③見ること全てが新鮮でメモする手が止まらない ④菌床を持ってみると思ったよりも重かった

今月のお題

しいたけ 椎茸栽培にかける 農家の思いをリポートしよう！

農業の魅力にも触れ、
貴重な体験ができました！

雄物川
高校
1年
大田
泉さん



菊地
李那さん

私たち雄物川高校家庭クラブは、雄物川町の農家・井上雅之さんを訪問し、椎茸栽培について取材しました。井上さんは菌床椎茸をハウス6棟分・年間約2万個栽培しています。椎茸栽培はハウスでの栽培のため、他の品目に比べて天候に左右はされませんが、その分温度や湿度の管理が大切だとお聞きしました。普段は23℃に温度設定していますが、よく育つように時には温度を下げたり菌床を軽く叩いたりして、刺激を与えているそうです。椎茸は一週間ほどで大きくなるそうで、思っていたよりも期間が短いことに驚きました。

井上さんのおすすめの食べ方は塩で^{あぶ}煮るなどシンプルな食べ方です。そうすることによって、椎茸本来の風味や香りを感じられるそうです。より椎茸の香りを楽しみたい場合は、椎茸のかさが閉じているものを選んで買うとよいと聞きました。かさが閉じていると、香りも閉じこもっているそうです。

最後に、井上さんにとっての椎茸栽培のやりがいやを伺ったところ、食べてくれた方に「おいしい」と言ってもらえることだそうで、食べる人を思いながら栽培している井上さんの気持ちが伝わってきました。また、今後は横手でニーズが高いものを栽培していきたいと意気込みもお話ししていただきました。今回の取材では、栽培の大変さだけでなく、農業の魅力にも触れることができました。井上さん、貴重な体験をさせていただきありがとうございました！

農に生きる

明日を担う生産者たちの思いを探る



福田 節子さん (53)

● 大森

Setsuko Fukuda

生産品目：ハウレンソウ180坪（ハウス3棟）

稲作 2.3ha

葉タバコ 1ha

冬の寒さが甘みを育てる

「寒じめ」ほうれんそう

冬 が旬のハウレンソウ。カロテンやビタミンA、ビタミンB群、ビタミンCが豊富で栄養価が高く、鉄分や葉酸なども含まれ、造血作用から貧血予防によいとされています。

農研機構東北農業研究センター（当時東北農業試験場）がハウレンソウは寒さに当たると甘みが増すことに着目。冬の寒さを利用してハウス内で糖度やビタミンの含有量を高める栽培方法を開発しました。これが「寒じめ」栽培として各地に広まり、管内でも十数年前から導入。「寒じめ」の名前が付されるためには12月下旬から2月下旬まで収穫されたもので、なおかつ寒さに当って糖度を上げる必要があります。そのため、「寒じめほうれんそう」は旬の時期が短くこの時期にしか味わえないまさに極上の野菜。冬の厳しい自然環境で育った管内産の「寒じめほうれんそう」はとり

わけ甘さが凝縮され、特産として付加価値が高まっています。

冬期経営でハウレンソウを導入

葉タバコ農家の長女に生まれた福田節子さん。幼い頃から両親の農作業を手伝い、高校卒業後に就農しました。8月いっぱいまで収穫を終える葉タバコのほかに冬の経営で何かできないかと考えた12、3年前、経営にハウレンソウを取り込みました。現在は、父親とハウス3棟180坪で栽培しています。

ハウレンソウ作りは土作りから

葉タバコの肥料を有効活用し、農薬を使わず安全で安心なハウレンソウ栽培を心掛ける節子さん。「土に元気がないとハウレンソウも元気に育たない」と話し、土作りを大切にしています。

節子さんは目ざろえ会や他県への視察研修にも積極的に参



- ①収穫したホウレンソウ。一番甘みが凝縮されているのが根の部分。節子さんは「ぜひ根も食べてほしい」と話す
- ②丁寧に手作業で収穫する
- ③袋詰めしたホウレンソウ。地域の特産として付加価値が高まっている

(撮影日 1月19日)

④濃い葉の色が目にも鮮やかな「寒じめほうれんそう」。太い茎は「シャキッ」とみずみずしく、青々とした葉が冬の食卓に彩りを添える

加。その際に圃場を見学して良
いなと感じたことは経営に取り
入れ、疑問に感じたことは野菜
部会の先輩や仲間聞いて学び
を深めています。

課題を前向きに考える

収穫が終わると来年の畑作り
を考える節子さん。植えてすぐ
育つとは限らず、毎年同じよう
には生長しない――。ホウレン
ソウを栽培するようになり、そ
のことをより実感したそうで
す。できなかったことを反省し
て、「今度はこうやってみよう」
と課題を前向きに捉えています。

食べてくれる人の言葉が支え

節子さんの作る「寒じめほう
れんそう」は葉の色が濃いのが
特徴的。えぐみが少なく、調理
をするより甘くなると評判で
す。やりがいを感じる時はホ
ウレンソウが苦手だった小さい
子が「寒じめほうれんそう」を
食べて「おいしい！」と言っ
てくれたことや「また送ってほ
しい」と喜んでもらったこと。節
子さんは「そういった言葉に支

えられる。頑張って良かったと
思える」とほほ笑みます。

地域のブランドを守るために

「一緒に頑張っている先輩や
仲間がハウスに来てくれてアド
バイスをもらっている。良い環
境に恵まれた」と話す節子さん。
「仲間たちはブランドを守るた
めに真剣に取り組んでいる。自
分もその一員になることができ
て嬉しい」と笑顔で話します。
今後の目標は、葉タバコを軸に
ホウレンソウ以外の野菜栽培に
も挑戦すること。今の生活を「充
実している」と目を輝かせる節
子さん。これからも仲間と研鑽
を重ね、地域のブランドを守っ
ていきます。



▲寒さが厳しさを増す中での作業。
「おいしかった」という言葉が励みになる



確定申告に臨む前に 今年度の留意点を確認しましょう

「農」「旬」情報
まるごと便！
【確定申告】

今年も確定申告の時期がやってきました。毎年、何かと苦勞しがちなこの作業。たびたび改正される税制や、様々な仕組みに翻弄されてしまう方も多いことかと思われま。しかし、そんな煩わしいこの作業も、その年のポイントさえ押さえてしまえば怖いものはありません。確定申告に臨む前に、留意点をチェックしましょう！

■ 記帳・帳簿等はしっかりと保存しましょう

◎ 対象となる方

事業所得（農業・営業）、不動産所得を生ずべき業務を行う全ての方です。所得税の申告が必要ない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

なお、JAでは、この制度に対応した「2017家の光家計簿」をおすすめしております。お近くのJAまでお問い合わせください。

◎ 記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について、取引の年月日、売上先・仕入れ先その他の相手方の名称、金額、日々の売り上げ・仕入れ、経費の金額等を帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記帳するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

【帳簿・書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿（法定帳簿）	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿（任意帳簿）	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

◎ 帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

■ 事務負担を軽減！JAの「取引データ帳票」をご活用ください！

JAでは、ご利用いただいている購買事業などの取引について、収支計算の科目に対応した帳票「収支内訳書」を発行しております。ぜひご活用ください！

なお、本帳票は決算事務の軽減を図るものですが、大規模経営や複合経営を行っている方は記帳に基づく申告が基本です。で、記帳を習慣づけ経営の把握・改善に努めましょう。ご不明な点はJA各営農センターまでお気軽にお問合せください。

◎ 注意事項

① 経営所得安定対策金関係は国より直接支払われておりますので、データには反映しておりません。横手市で行う申告相談の際は通知書や通帳など分かるものを持参してください。

② 平成25年から発生している「青果類出荷奨励金」については「雑収入」で計上していただきます。

③ 青果類の精算時に控除されている「部会費等」については「租税公課」で計上していただきます。各部会の通帳取引での部会費は含まれておりません。手数料等の控除分については従来通り「荷造運賃手数料」に計上しています。

④ 「各育苗センター利用料」については「種苗費」に計上しておりますので、「各育苗センター利用料+各支店資材店舗売上の種苗代金」が「種苗費」となります。

⑤ 農機について、農業機械・中古農機は金額に関わらず（10万円基準無視）「農具費」に入れております。修理サービスマテリアル・農機部品は「修繕費」に入れております。

⑥ 「野菜価格安定基金」については反映されていません。通帳や通知をご確認ください。



健康情報

歯周病を悪化させるもの

ノレーブ歯科クリニック（大森）
山野 浩樹



歯周病がどのような病気かご存じの方は多いと思います。歯周病の一番の原因としては間違いなく歯垢（しこう）であり、そのなかにある細菌です。皆さんが保有している細菌の種類はほぼ同じですが、歯周病の症状には個人差があります。歯周病を悪化させる原因として主に3つが挙げられます。

1. タバコを吸っている

喫煙により、白血球の機能が低下します。それにより、歯周病細菌に対する抵抗力が低下し、歯周病が悪化しやすくなります。また、ニコチンの作用により歯ぐきの毛細血管が収縮することで循環障害が起こり、歯周病の治りが悪くなってしまうほか、歯ぐきからの出血を抑えてしまうため、歯周病の症状にも気づきにくくなってしまいます。

2. 糖尿病を患っている

糖尿病になると全身の免疫力が低下し、炎症による歯周組織（歯や骨のこと）の破壊が進行しやすくなります。糖尿病患者はそうでない人に比べると、歯周病の発症リスクが2～4倍になるという研究データがあります。また、歯周病は糖尿病を悪化させる要因のひとつである可能性が高いといわれています。炎症時に歯周組織で増加したある特定物質が血液を介して運ばれ、インスリンの作用を邪魔して血糖値を上昇させる、つまり糖尿病を悪化させると考えられます。

3. かみ合わせに異常がある

残っている歯の本数が少ない場合や、歯ぎしり・食いしばりをよくするかたは、1本の歯に対する負担の割合が大きくなり、歯が歯周組織の破壊が進行しやすくなります。

その他にストレスや不規則な生活、骨粗しょう症、妊娠など、歯周病を悪化させるものは多岐にわたります。歯磨きしても歯周病の症状が残ると感じている方は、一度歯科医院に相談することをお勧めします。

今回登場してくれたのは、大雄、平鹿、睦合小学校のみなさんです。

ふるさと サロン

furusato salon
JAを支えてくれているみなさんのページ

キラリ★

管内で農業や
JAの組織活動を楽しむ
若手をご紹介します。



【大雄】 鈴木 孝彦さん (29)



テンションの上がる農業をしていきたい

東京の飲食店に勤務し、4年前に帰郷した孝彦さん。現在は両親と協力しながら春菊560坪(ハウス5棟)を栽培し、土作りや栽培管理、収穫を担います。また、自身で春菊の他にパクチーやバジル、タイムなどのハーブも栽培。知合いが経営する飲食店で春菊をジェノベーゼ風に加工してもらったことがあり、将来的には加工技術を身に付けたいと考えています。関心事はビールの原料である大雄地域特産のホップの生産。観賞用にも活かせないか思案中です。「今後は両親と同じように経営して自分で良いと思った品目や品種を育ててみたい」と意欲的な孝彦さん。「作物が育った様子を見るとテンションが上がってくる。楽しんで農業をしていきたい」と夢を描いています。

「まめ」なひと

元気なお年寄りをご紹介します。

【平鹿】 渡部 彰さん(77) ミネさん(77)



農業はまだまだ1年生の気持ちです！

24歳の時にミネさんと結婚した彰さん。二人とも「勤め人」で、彰さんは東京で、ミネさんは地元で働き、離れて過ごす期間が長かったと言います。退職後は本格的に枝豆などの栽培を始め、ミネさんは朝採り野菜を出荷するようになって15年になりました。作業は夫婦二人三脚。「一人では何もできない。だから二人で頑張ってきた」と口を揃えます。そんな二人の活力の源は出かけること。そうと決めたら目標を据えて早くから計画を立てていきます。これまでイタリアや中国など海外も積極的に周遊。ミネさんは「その土地のものを食べるのが楽しみ。出先で良いなと思ったことがあれば取り入れている」とアンテナを張っています。「ずっとまめで働いてきた。今年うまくできなかったことは来年成功させるように努力していきたい」と話す渡部さんご夫妻です。



みんなの写真展

読者投稿型企画
写真募集



管内の風景などの写真を募集します！

◇期 間 2016年4月～2017年3月10日まで
◇部 門 <農に関する行事やその暮らし>
各地の農村行事や農作業の様子、またそれに係わる人々の表情などを募ります。

<管内の風景>

四季折々の美しい風景や厳しい自然の様子などを募ります。

◇規 定 応募作品は未発表のものとしします。人物の肖像権など被写体に関する権利を尊重し、応募者の責任で了解を得てください。また、応募作品は今後の広報（掲載・紹介）で使用させていただく場合があります。なお、作品はお返しいたしませんのでご了承ください。いただいた個人情報につきましては本誌の編集以外には一切使用いたしません。

◇応 募 2 L以上の大きさのプリントまたは当JAホームページ
(<http://www.akita-furusato.or.jp/>)からデジタルデータで応募ください。
①氏名②年齢③郵便番号④住所⑤電話番号⑥撮影地と内容などを明記してください。

◇送り先 〒013-0036 横手市駅前町6-22
JA秋田ふるさと 総務課 広報担当



▲鈴木文子さん（大雄） じいちゃん頑張れ！



◀T・Kさん（横手）
初めてのモチつき

コンテストは年度末に実施予定！

組合長賞(1人)	副賞・商品券3万円分
専務賞 (2人)	副賞・商品券1万円分
広報担当賞(若干名)	副賞・商品券5千円分



スクール

管内の学校の食と
農をご紹介します。

横手市立睦合小学校
5年生 8人のみなさん
校長：加藤 仁先生



郷土料理を学び、作って食べたよ♪

睦合小の5年生児童8人は12月9日、JA女性部十文字支部の部員の指導の下、「お米学習会」を行いました。同校調理室で、部員や保護者のサポートを受けながら、地場産「あきたこまち」を使った郷土料理の「だまこ汁」と、ご飯をピザ生地代わりにした「ライスピザ」、地域特産のリンゴを使った「リンゴサラダ」とドレッシングの調理に挑戦。調理後は、給食として教室で試食しました。試食した児童とその母親は「自分で作った料理はどれもおいしい」「郷土料理を学べる良い機会となった」と笑顔で話していました。



今月のテーマ：『白』

わたしの川柳

● 今月の最優秀作品

父と子が

碁敵になる

日曜日

P.N. 一度は当選したい

みっちゃんさん(横手)

● 優秀作品

白景色

田畑の緑

待つ我等

佐々木 幸一郎さん(大森)

ゆきの朝

区切り見ずと

妻が言う

武内 良悦さん(平鹿)

望みまだ

捨てぬ八十路の

共白髪

P.N. ひまつぶしさん(雄物川)

子に食わす

白菜を掘る

大寒の朝

阿部 麗子さん(十文字)

楽しい川柳作品をお待ちしております。最優秀作品には、素敵な記念品を進呈！

【3月号のテーマ】「好」【応募方法】ハガキに川柳作品(パズルにご応募の方はその答えも)のほか、次頁下段の応募方法①～⑥をご記入の上、ご応募ください【応募先】〒013-0036 横手市駅前町6-22 総務課 広報担当【応募締切】2月28日(火)必着
＜作品をご応募いただく皆さまへ＞掲載された作品を横手かまくらFMにおいて毎月第3木曜日午前8時30分より(変更あり)ご紹介させていただいております。作品と投稿者名(地区は除く)をご紹介しますので、ペンネームでのご紹介をご希望の方は必ず記載してください

応募作品数…26作品

■テーマである「白」が碁石の色。発想に脱帽です。そして沈黙の中、「白熱」した試合展開が想像されます

おたより

【12月号・1月号について】

●中1と保育園児二人の子育てに奮闘している母です。きのこを持っている表紙の花純ちゃんがかわいくて自分の子どもに近い子に目がいきます。

／横手 M・Yさん(39) 他
12月・1月表紙におたよりありがとうございます。これまで登場していただいた表紙のお子さんの成長が楽しみです。

●「農に生きる」の松本さん知っている人なので「頑張っているなあ」と思って読ませていただきました。

／雄物川 K・Tさん(69) 他
山内の伝統野菜を守り続ける松本さん。お話を聞いていると謙虚で几帳面な人柄の方で、人として姿勢を見習いたいと思いました。

●アグリリポート、頑張っている高校生たちに感動しました。今後も地元で頑張ってもらいたいと期待しています。

／増田 K・Fさん(67)
12月号では、清陵高校の皆さんがアグリリポートで学んだことを生かして地元食材を使った料理を完成させていたのに担当も感激しました。リポートを受けた農家の皆さん、そして読者の皆さんに何かを感じてもらえたらと思います。

●クロスワードがすきです。わけは、じじとやってとてもたのしいからです。

／横手 M・Sさん(8)
おたより応募ありがとうございます。小学生の皆さんの声もどんどん聞かせてください！学校の宿題の他に余力があったらぜひ挑戦してみてくださいね♪

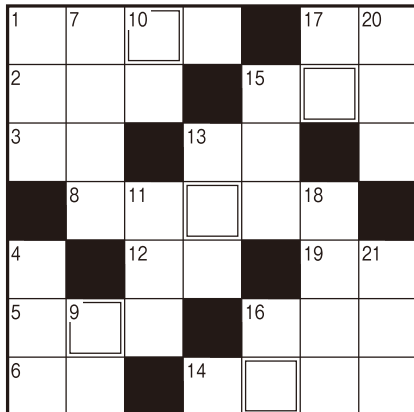
●おにぎりダイエットの記事を見て、こういった記事があると少し気をつけたりする良いきっかけになるなあと思いました。普段カロリーを計算することがなかなかないので楽しかったです。

／大雄 N・Sさん(22) 他
おにぎりダイエット大反響で驚いています。「太りやすいイメージがある」という声が多数寄せられ、皆さんのお米に対する率直な感想をたくさん知ることができました。米消費の一助になる記事のアイデアやご意見がありましたら広報までお知らせください！

管内の風景写真や自慢の逸品、珍品野菜など、みなさんの「作品」を募集しています。ご応募は当「A」ホームページにある専用フォームからお寄せ下さい。(携帯からは、以下アドレスへ)掲載者には、素敵なプレゼントを差し上げます。
メール【wg-koho@akita-furusato.or.jp】

クロスワードパズル ☆☆☆

日本では2段、西洋では
3段が多いらしいです



【解き方】全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

↓ タテのカギ

- 1 うそから出た――
- 4 1歳違いの兄弟姉妹のこと
- 7 顔の整った人が好みなの
- 9 矢をつがえます
- 10 暖炉にくべる物
- 11 煮物をじっくり煮込むときの火加減
- 13 会社の運転――を調達した
- 15 ワカサギ釣りの際に穴を開けることも
- 16 酔っぱらいが巻きます
- 17 長寿を象徴する鳥
- 18 駅の――で新聞を買った
- 20 ニコリと笑うとペコリとへこむ
- 21 役者が観客に見せるもの

→ ヨコのカギ

- 1 「福は内」と言いつつ行きます
- 2 こつこつと――よく作業を続けた
- 3 早起きは三文の――
- 5 攻撃の反対語
- 6 分別して回収に出します
- 8 人間の犬歯の別名
- 12 進化――。感情――
- 13 海水から作れる調味料
- 14 よそ行きではない服装
- 15 ワインボトルの栓によく使われる素材
- 16 文末に付ける「。」のこと
- 17 仙人はこれを手にした姿で描かれることが多い
- 19 生涯で一番高い買い物だとよくいわれます

ディズニー
vintageサーモマグ
3名さまにプレゼント！

大人っぽい
デザインが新しい♪
ディズニーサーモマグ！



●応募方法 ※川柳もこちら！

【応募方法】

ハガキに ①答え ②住所 ③氏名（当選発表時にペンネームが必要な方は別途記載してください） ④年齢 ⑤電話番号 ⑥当誌を受け取った場所 ⑦今月の好きな記事とその理由 または、当誌やJAへのご感想をご記入の上、下記まで応募ください。なお、お寄せ頂いたご意見は「お手紙」のコーナーにてご回答させて頂く場合がございます。（①～⑦の項目は必須となります）

【応募先】

〒013-0036横手市駅前町6-22 JA秋田ふるさと総務課・広報担当（※応募はホームページからでもOK。トップページの「みなさんの声と作品をお寄せ下さい！」バナーをクリック！）

【締 切】

2月28日(火)当日消印有効



■12月号の答え／ススハライ

■12月号の当選者／

P.N.R.Aさん（大森）

遠藤光さん（雄物川）

佐藤征一さん（横手）

■応募総数／60通

■正解者数／57通

JA住宅ローンセミナーのご案内



JAでは第19回を迎える標記セミナーを開催します。住宅購入や住宅ローンなどについての情報をご提供いたします。他行からの借換をご希望の方もお気軽にご参加ください。

●開催日時／平成29年2月19日(日)午前10時30分～ ●場所／よこてシャイニーパレス5階 ●内容／セミナー「住宅ローンの上手な借り方・返し方」、個別相談 ※お弁当あり
●参加費／無料 ●定員／50名様 ●申込締切／2月15日(水) ●お申込み／ローンセンターまたは各支店・出張所まで ●電話／38-8601 (ローンセンター)

収入保険制度に関するお知らせ

政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、青色申告を行なっている農業者を対象とした収入保険制度の導入が決定されました。

新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、**平成29年3月15日までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出**する必要があります。

この申請を行えば、平成29年分の所得から、青色申告を行なうことができます。(申告時期は平成30年2～3月)

青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。青色申告には、税制上のメリットもあります。

青色申告の主なメリット

○ 青色申告特別控除

「正規の簿記」の場合は65万円を、「簡易な方式」の場合は10万円を所得から控除可能です。

○ 損失の繰越しと繰戻し

損失額を翌年以後3年間(法人は9年間)にわたって繰り越して、各年分の所得から控除可能です。

また、繰越しに代えて、損失額を前年に繰り戻して、前年分の所得税の還付を受けることも可能です。

※ 帳簿を付けることで、自らの経営状況をつかみやすくなるとともに、金融機関からの信用を得やすいといった経営上のメリットも出てきます。

◆お問合わせ先◆

東北農政局秋田県拠点地方参事官室
(秋田市山王7丁目1番5号 TEL 018-862-5611)

1月号クロスワードパズル当選者を発表！

JA秋田ふるさと直売の会
「ふるさと安心畑」おすすめセット
15名さまにプレゼント！

新鮮な青果物やおいしい
加工品が盛りだくさん！
※写真はイメージです



毎年恒例のJA通信「ふるさと」1月号新春クロスワードパズルのお年玉プレゼントの当選者を発表いたします。なお、当選者には2月下旬頃に賞品が届くよう準備をいたしますので、お楽しみにお待ちください。

P.N大雄にいちゃんさん(大雄)、栗田彩羅さん(雄物川)、佐々木キミ子さん(増田)、太田生子さん(大森)、P.N準高齢者さん(横手)、P.N A.Mさん(増田)、山本アヤさん(大雄)、佐々木邦平さん(横手)、P.N八十吉太郎さん(雄物川)、P.Nマルコさん(横手)、織田祐子さん(十文字)、P.N Rさん(大森)、石山たき子さん(平鹿)、P.N W・Sさん(大雄)、P.N ゆめりんごさん(金沢)

おめでとうございます！

1	オ	ト	シ	ダ	13	マ	20	オ
2	カ	ツ	オ		14	ク	17	マ
	メ		8	カ	11	タ		18
		6	ニ	ラ	メ	15	ソ	コ
3	カ	オ		12	シ	マ		21
4	ソ	ウ	9	ニ		16	サ	ケ
	ク		10	ク	ウ	キ	イ	レ

■ 1月号の答え／デゾメシキ

■ 応募総数／195通

■ 正解者数／193通

たくさんのご応募ありがとうございました♪



理事会 だより

【第9回定例理事会】

平成28年12月27日開催

議案（抜粋）

■平成28年度上半期監事監査
回答について

報告事項（抜粋）

■平成28年度仮決算結果につ
いて

■秋田農協労秋田ふるさと支部の
要求書に対する回答について

出席理事・監事数39名(40名中)

【第10回定例理事会】

平成29年1月31日開催

議案（抜粋）

■全国監査機構財務諸表等監査
(期中I)改善事項及び回答に
ついて

報告事項（抜粋）

■仮決算監事監査報告書について

■組合員異動及び出資金状況に
ついて

出席理事・監事数36名(40名中)

【2月の主要行事予定】

23日 平成28年度園芸作物販売
高70億円達成大会

28日 定例理事会（平鹿）

理 事 会 メ モ

●第9回定例理事会の議案第5号「組織機構及び職制規程の一部改正について」において、以下の内容が承認されました。(抜粋)

平成30年の生産調整廃止等米生産・販売環境変化への対応と米生産基盤・販売力の更なる強化を図ること及び畜産業務にかかる専門性・機動性強化と畜産関連諸施策への対応強化を図ることを目的に米穀課と畜産課に独立再編します。組織機構および規程の改正実施日は3月1日と設定いたします。

ふるさと
AutoLand



2017 もうすぐ春なのに～♪大商談会

ふるさとオートランドでは、来たる2月18日(土)と19日(日)の2日間、自動車展示会を行います。ご来場記念品、ご成約記念品のほか、屋台コーナーを準備してお待ちしております！ぜひ、お気軽にご来場ください。

来て！見て！乗って！
ダイハツ トールカスタム
試乗もOK！



THOR

開催日時：平成29年2月18日(土)・19日(日)

午前9時～午後5時

開催場所：ふるさとオートランド（横手市安田字堰端96）

お問合せ：電話 0182-33-5995

3/1 JA健康生き生き100歳プロジェクト 「健康推進大会」開催

平鹿総合病院とJA全農あきたの協力により「第17回健康推進大会」を開催します。講座などを通して、毎日の健康づくりについて考えてみませんか。ぜひご参加ください。

【日 時】 平成29年3月1日(水) 12:30(受付)～15:30

【場 所】 平鹿総合病院 2階講堂

【内 容】 ●講座「音楽でリフレッシュ！」

日本音楽療法学会認定

音楽療法士 日沼郁子 氏

●講話「生活習慣病予防と減塩」

平鹿総合病院 農村医学研究所

管理栄養士 田村早希 氏

●いきいき健康体操

【参加料】 無料（どなたでもご参加いただけます）

【申込方法】 各営農センターまでお申込みください



ふるさとの民話

雪女郎

● 再話／中川文子 ● 画／佐々木愉美子



昔むがし、ある冬の日、男が山を三つ越えだ親戚の家さ、仏様拜みに出掛けだけど。昼飯ご馳走になつて、暫ぐぶりに逢った人達どの話もはずんでしまつて、すっかり遅くなつてしまつたけど。「さあ、そろそろ戻るべ」って支度してだば「雪降る時の山越えなば何えあるがわがらねや。一晚泊まつて、明日の朝戻れ」って止められだとも、「慣れだ道だがら」って戻ったけど。

案の定、山一つ越えだあたりで雲近づいてきて、チラチラど雪っこ降ってきたけど。歩りてる内に空も次第え暗りやくなつてきて、道見ねやくりやのんのど雪降りだしてきたけど。「さあ、早く戻らねやば」って焦れば焦るほど足取りが進捗えがねやで、いつもの道と違うえ

た気いしてきたけど。心細くなつてきて先急いだとも、同じえた景色が続くおだがら、同じ所、ぐるぐるど回つてるえた気いするけど。「これなばでげねや。しかだねや。此処で暫ぐ様子見るべ」って、雪穴掘ったんだ。雪、なんぼしたておさまらねやおだがら、其処で夜明けるな待つごとにしたけど。なんぼばし経ったべ。何処ががら、「ほほぎや、ほほぎや」って赤ん坊の泣き声聞けるけど。空耳だべがと思つたば、赤ん坊ど抱いだ綺麗だ婦人が現れだけど。「何えしたけな。こんな山の中で」って聞いたば、「道さ迷つてしまつた」って細っこい声で言うけど。男、「俺らも迷つて、雪穴で夜明がすぐだ。一緒に待てるべ」って、雪穴さ誘つたんだ。したば、

「俺ら、其処の松の木の根元さ荷物置いてきた。取ってくるまで、赤ん坊ど抱いででけねやべが」って言うけど。「ええよ。早急ど行つてこい」って言つて、赤ん坊ど受け取つた。したども、なんぼ待じだたて、婦人は戻つてこねやがったんだ。その内、赤ん坊が寝でしまつたけど。なえてかえて重でや赤ん坊で、立つてえねやくなつたけど。座つて抱いでだば、次第え眠ふてやくなつてきたけど。「これなばだめだ、だめだ。寝れば凍み死んでしまふ」って思つたども、そのまま眠り込んでしまつたけど。

三日経つたたて男が戻つてこねやなで皆んなして山狩りしたば、雪穴の中で大つきた氷抱えだま凍み死んでだけど。とつぴんばらりのぼう

「俺ら、其処の松の木の根元さ荷物置いてきた。取ってくるまで、赤ん坊ど抱いででけねやべが」って言うけど。「ええよ。早急ど行つてこい」って言つて、赤ん坊ど受け取つた。したども、なんぼ待じだたて、婦人は戻つてこねやがったんだ。その内、赤ん坊が寝でしまつたけど。なえてかえて重でや赤ん坊で、立つてえねやくなつたけど。座つて抱いでだば、次第え眠ふてやくなつてきたけど。「これなばだめだ、だめだ。寝れば凍み死んでしまふ」って思つたども、そのまま眠り込んでしまつたけど。

JAの概況		Situation	編集後記	
組合員数.....	17,575人	申し上げます。 (き)	2017年は第11回全国和牛能力共進会宮城大会が、9月7日から5日間開催されます。5年に1度、全国から選抜された和牛、約500頭が一堂に会して、和牛の改良の成果と肉質の良さを競い合う品評会。優秀な成績を収めることで、その和牛ブランドの市場価値が全国的に高まるため、まさに威信をかけた熱い大会となります。通称「全共」別名「和牛のオリンピック」とも呼ばれ、前大会で優等2席を受賞した秋田県有種雄牛「義平福」は広く名を知らしめました。今年はぜひこのイベントにも注目してみてください。(か)	今月号の特集「東北・北海道地区JA青年大会」の同行取材をさせていただきました。情報交換の席で各地の青年部盟友の皆さんや事務局の方に「秋田から来ました」と話すと「いぶりがつこだよね!」と返していただき、認知されていることを実感。広い視野を持って「秋田」とは、地元とは、如何なる土地かと追究する姿勢が大事だと学びました。また、本州から出るのが十数年振り、慣れない公共交通機関に緊張し、いろいろな面で覚束ない私を最後まで導いてくださった青年部の皆様はじめ関係各位の皆様、心より御礼申し上げます。
(正組合員)	13,063人			
(准組合員)	4,512人			
貯金	1011億252万円			
貸付金	315億5266万円			
購買品供給高	38億6037万円			
販売品販売高	157億7162万円			
共済保有高(保障)	4315億5486万円			
(2016年12月末現在)				



JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画・編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！